

BHELP (Basic Health Emergency Life Support for the Public)とは、「発災直後から避難所での活動を効果的・効率的に実践するために、災害対応における知識、共通の言語と原則を理解し、被災者の生命と健康の維持、災害発生直後からの被災地内での災害対応能力向上に資すること」を目的とした日本災害医学会の教育コースです。

日時:2025年2月15日(土) 9:00~16:30

開催方式:web 開催 (使用ツール:Zoom@[<https://zoom.us/>])

※通信環境の準備はご自身でお願いいたします

受講対象: **岩手県内に就業する、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士**

募集人数: 24名 *定員に達し次第、申込を終了する場合がございます

申込締切:2025年1月15日(水)

受講費 : 無料

コース運営責任者:関 公輔 (所属:岩手災害リハビリテーション推進協議会)

主催:岩手災害リハビリテーション推進協議会(いわてJRAT)

【コース概要】

軸は CSCAHHH : Healthcare Triage (ヘルスケア・トリアージ)、
Helping Hand (手を差し伸べる)
Handover (つなぐ)

1) 講義

- ・災害医療体制の概要と医療対応の原則
- ・避難所、福祉避難所の概要、体制構築および運営上の留意点
- ・避難所の環境改善に必要な情報収集のためのアセスメントシートの活用
- ・避難所生活により生じやすい健康問題とその予防法
- ・被災地域内外の支援者との連携協力

2) 演習: 講義で学習した内容を活用して、以下の演習を行います。

- ・トリアージ・保健福祉的視点によるトリアージ・CSCA を意識した対応
- ・アセスメントシートを活用した避難所の情報収集と評価・避難所のレイアウト

【申込方法】D-PORT(災害医療イベントポータルサイト)より「第58回 BHELP 標準コース」を選択してお申し込み下さい。下記 URL・QR コードからもお申し込みできます。



[災害医療イベントポータルサイト D-PORT \(mcls.jp\)](https://mcls.jp)

【お問い合わせ】コース開催1週間前までに受講の可否の連絡がない場合/申込キャンセルの場合、その他、受講に関する事等は下記まで

BHELP 運営委員会 恩部陽弥 jadm_bhelp@yahoo.co.jp

※主催側、学会事務局では問い合わせに対応しておりませんので、ご注意ください。

BHELP研修会プログラム（未定稿）

開催方式：WEB開催

主催：岩手災害リハビリテーション推進協議会

【2月15日（土）】

時間	形式	内容
09:00～09:10		オリエンテーション
09:10～09:30	講義	BHELP 標準コースの概要
09:30～10:05	演習	自らの生命を守るための行動と備え
10:05～10:50	講義	災害対応に関する共通言語 CSCATTT
10:50～11:00	演習	発災直後の指定緊急避難場所での応急的な対応
11:00～11:50	講義	要配慮者対応の共通言語 CSCAHHH
11:50～12:45		（休憩）
12:45～13:20	演習	要配慮者の生命と健康を守るために
13:20～13:50	講義&演習	避難所の生活環境アセスメント
13:50～14:05	演習	避難所で生じやすい健康問題と予防対策①
14:05～14:45	演習	避難所で生じやすい健康問題と予防対策②
14:45～14:55		（休憩）
14:55～16:00	演習	生活環境改善のためのレイアウト
16:00～16:05		筆記試験
16:05～16:20		福祉避難所開設、福祉避難所の管理運営
16:20～16:30		修了式

* 時間割は、変更になることがあります。

※この事業は（公財）いきいき岩手支援財団の助成を受けて実施するものです。